資料４

第２期　岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）

■第２期岬町総合戦略策定の趣旨■

人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に、平成 26（2014）年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。同法に基づき、岬町では第 1 期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第１期岬町総合戦略という。）及び岬町人口ビジョンを策定、人口の現状と将来展望、そして今後 5 カ年の本町の施策の方向を提示し、人口減少に歯止めをかけ、魅力と活力あるまちの実現に向けて取り組んでまいりました。

第１期岬町総合戦略の計画期限を令和２年（2020）年度に迎えることから、検証を行い、国の第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略や第 5 次岬町総合計画を踏まえ、Society5.0（未来技術）や SDGs といった新しい視点を盛り込み、岬町の強みや特徴を生かした今後 5 か年の地方創生の指針となる第２期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第２期岬町総合戦略という。）の策定を進めています。

■第２期岬町総合戦略の計画期間■

令和３（2021）年度から令和７（2025）年度までの５年間とします。

■Society5.0（未来技術）と SDGs への取り組み■

（１）Society5.0

Society5.0 とは、情報化社会の次に訪れるとされている社会のことで、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する」ものです。

岬町も未来技術を用いた ICT（情報通信技術）等をまち・ひと・しごとのあらゆる分野において活用することで、町の課題解決と住民生活の利便性向上を図っていく必要があります。

（２）SDGs

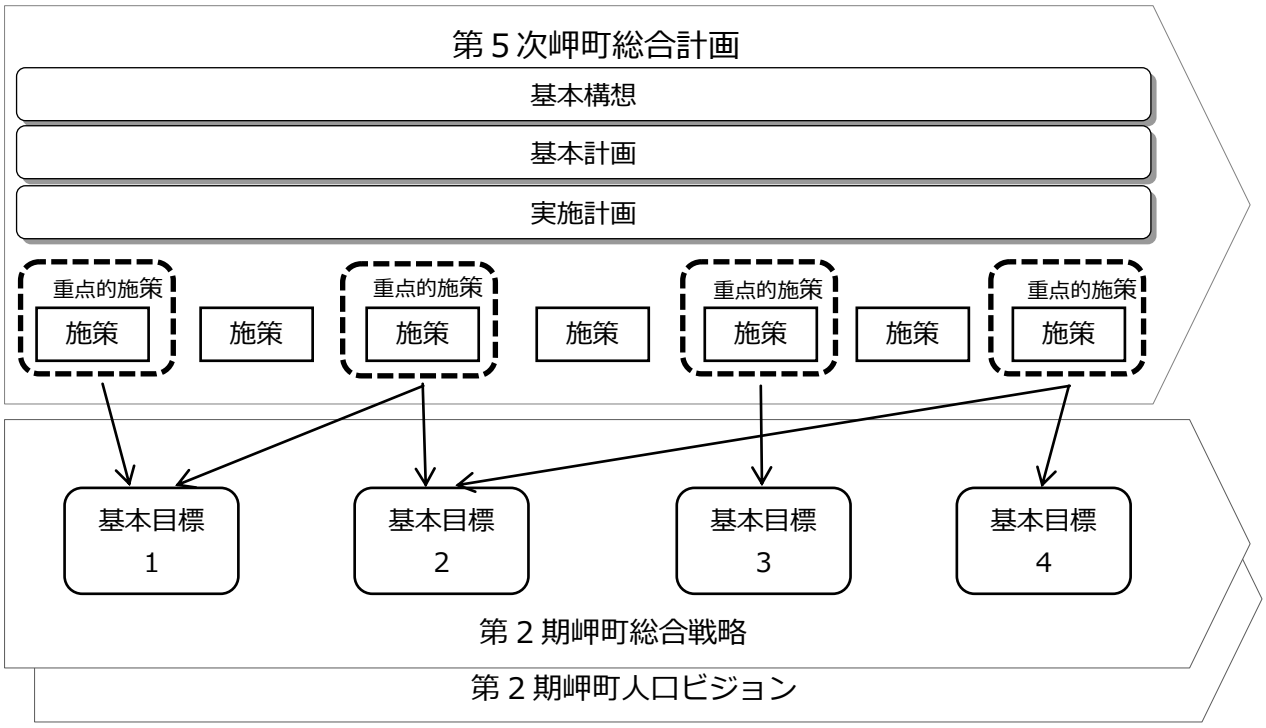
「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」は、平成 27（2015）年９月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」における、社会・経済・環境面における「持続可能な開発」を目指す、先進国も途上国も含めた令和 12（2030）年までの国際社会共通の目標です。

岬町においては、地域の課題に対し、産官学をはじめとする多様なステークホルダーとの連携を図り、持続可能な地域づくりを進めることとしており、SDGs の理念に沿った様々な取り組みを通して、地方創生の推進と地域の活性化を目指していく必要があります。

■第２期総合戦略の位置づけ■

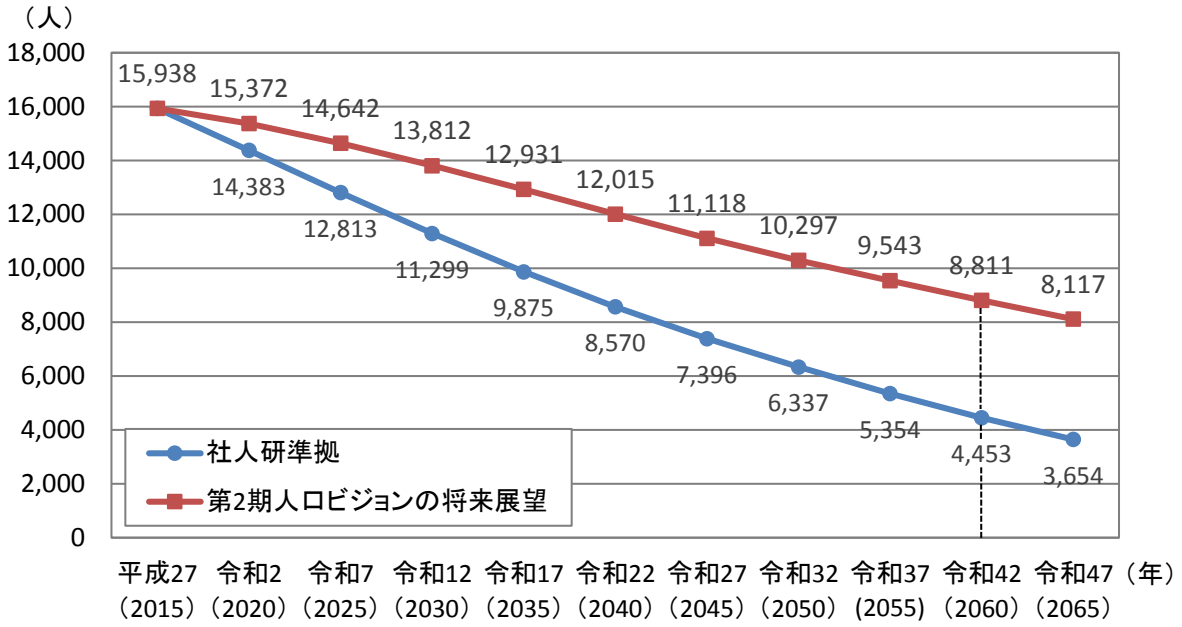
総合計画は、まちづくりの中長期的な方向性を示したものであり、行政サービスを始めとして、福祉、教育、都市基盤の整備、産業振興など、岬町が取り組む全ての施策の方向性を示すものです。

総合戦略は、総合計画の分野別計画の一つとして位置づけ、人口減少克服と地方創生に主眼を置いた施策の体系化を図り、将来の人口展望を見据え、各種の個別計画との整合を図りながら、分野横断的に推進していくための方向性を定めたものです。



■人口ビジョン■

第２期人口ビジョンでは、2060 年の総人口を国立社会保障・人口問題研究所準拠よりも約４千４百人多い約８千８百人程度の確保を目標とします。



■岬町の課題■

（1）「自然減」の抑制

自然減を抑制するため、出会いや結婚の支援、妊娠・出産・子育ての支援といった「出生率」を向上させる施策に取り組みます。

（2）「社会減」の抑制

若い世代を中心とする転出超過が人口減少につながっているため、近隣市への転出抑制に加え、住環境や就労の希望を実現できるような施策に取り組みます。

（3）長期的かつ総合的な観点でのまちづくり

人口減少は、様々な要素が関係していることから、長期的かつ総合的な視点でまちづくりを推進するために、地域資源の活用、地域の将来を支える人づくり、交流の促進に取り組みます。

■第２期岬町総合戦略の基本目標■

総合戦略に掲げる基本目標と、それを達成するための具体的取り組みを示した戦略の体系を以下のとおりとしています。

基本目標１ 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する	１）移住・定住の支援 ２）関係人口の創出・拡大 ３）観光の振興 ４）タウンプロモーションの推進
基本目標２ 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	１）結婚・出産・子育ての支援 ① 結婚希望の実現 ② 妊娠・出産の支援 ③ 子育ての支援 ２）次代を担う人材の育成
基本目標３ 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する	１）地域資源を活かしたまちの魅力強化 ２）地域産業の競争力強化 ３）雇用対策の推進
基本目標４ 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる	１）生活インフラの確保 ２）安全・安心な暮らしの確保 ３）誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進 ４）地域コミュニティの活性化 ５）広域連携の推進

■横断的な目標■

横断的な目標Ⅰ 多様な人材の活躍を推進する	１）幅広い連携の推進
横断的な目標Ⅱ 新しい時代の流れを力にする	１）新しい時代の動きの活用

■数値目標と重要業績評価指標（KPI）■

第２期岬町総合戦略は、第１期岬町総合戦略で掲げた基本目標の趣旨や施策を引き継いでおり、令和７（2025）年度を目標として、これらの基本目標ごとにアウトカム（成果）を重視した数値指標が設定され、その達成過程にも重要業績評価指標（KPI・Key Performance Indicators）が設定されています。

これら数値を測定することで「PDCA メカニズム」を機能させ、取り組みのあり方に改善を加え、目標の実現をめざしていきます。

基本目標１ 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する	基本目標２ 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる
数値目標 **■社会増減数　▲86 人 ⇒ 0 人** **■主要観光関連施設来館者数** **1,948,000 人 ⇒ 1,600,000 人** **重要業績評価指標（KPI）** １）移住・定住の支援 ・若年層（20～39 歳）の転出超過数 ・空き家率 ２）関係人口の創出・拡大 ・学校間交流に参加した人数 ・企業版ふるさと納税の寄附額 ・企業版ふるさと納税（人材派遣型）の人材受け入れ数 ・ふるさと納税の寄附額 ・地域おこし協力隊の任期終了後の定住者数 ３）観光の振興 ・滞在人口（休日 14 時の人口） ４）タウンプロモーションの推進 ・ホームページアクセス件数	**数値目標** **■合計特殊出生率　1.14 ⇒ 1.17** **■岬町に愛着を感じる住民の割合** **73.4% ⇒ 80%** **重要業績評価指標（KPI）** １）結婚・出産・子育ての支援 ①結婚希望の実現 ・婚姻率（千対率） ②妊娠・出産の支援 ・妊娠届が満 11 週まで提出される割合 ・こんにちは赤ちゃん（乳児家庭全戸訪問）訪問率 ③子育ての支援 ・子育て施策の満足度　等 ・ファミリーサポートセンター登録者数 ２）次代を担う人材の育成 ・全国学力・学習状況調査 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査体力合計点　等
基本目標３ **経済を活性化し、安定的な雇用を創出する**	**基本目標４** **安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる**
数値目標 **■町の取り組みによる雇用創出数** **105 人 ⇒ 105 人** **■従業者数　3,597 人 ⇒ 3,800 人** **重要業績評価指標（KPI）** １）地域資源を活かしたまちの魅力強化 ・事業所数 ２）地域産業の競争力強化 ・道の駅への出荷件数　等 ３）雇用対策の推進 ・地域就労支援事業による就職件数 ・シルバー人材センター登録者数	**数値目標** **■これからも岬町に住み続けたいと思っている住民の割合　66.0% ⇒ 70%** **■岬町での生活に満足している住民の割合** **62.9% ⇒ 70%** **重要業績評価指標（KPI）** １）生活インフラの確保 ・コミュニティバス利用者数　等 ２）安全・安心な暮らしの確保 ・自主防災組織数　等 ３）誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進 ・いきいきパークみさきの利用者数　等 ４）地域コミュニティの活性化 ・自治区（会）加入率　等 ５）広域連携の推進 ・広域連携事業数